

## 令和5年度 介護予防手帳配付事業業務に関する評価基準

実施する内容に関する評価(100点)

評価項目	評価視点
<b>1. 事業に対する基本的な考え方</b>	
(1) 事業に対する理解	介護予防手帳の主旨を理解しているか。
<b>2. 企画力</b>	
(1) 読みやすさ	文字の大きさ、情報量、イラストの活用など、高齢者にも分かりやすいレイアウトが提案されているか。
(2) デザイン力	インデックスの使用、掲載順番の配慮等創意工夫がされているか。
(3) メッセージ性	興味関心を引きつけ、行動を促す提案がされているか。
(4) 活用のしやすさ	記録ノートの記入のしやすさ、自己管理定着への工夫が提案されているか。
<b>3. 実効性</b>	
(1) 実施体制	業務全般を統括する責任者及び、連絡調整担当者があり、本事業を確実に実施し得る体制となっているか。また、常時連絡対応が取れ、不測の事態にも対応できるよう危機管理を含めた体制が構築されているか。
(2) 介護予防手帳作成の実績	過去5年間に、介護予防手帳を作成した実績を有しており、本業務の遂行が十分に期待できるか。
(3) スケジュール	確実に遂行できるスケジュールとなっているか。
<b>4. 費用見積</b>	
(1) 見積書の内容	見積書の内容が提案内容と整合性が取れており、経費積算が明解で無駄がなく、適切なものになっているか。